

平成28年度第2回印西市市民参加推進委員会会議録

- 1 開催日時 平成29年1月26日(木) 午前10時05分～11時30分
- 2 開催場所 印西市文化ホール2階 大会議室
- 3 出席者 福川裕一委員(会長)、篠田吉範委員(副会長)、片桐顕二委員、三島木和香子委員、浅野敏一委員、前田伸彌委員、古川正明委員、飯塚靖明委員
- 4 欠席者 川端記美恵委員
- 5 事務局 山崎企画政策課長、吉岡主幹、金子主査、岩井主査補
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題 (1) 市民参加推進委員会の運営について  
(2) 平成28年度市民参加手続の中間報告について
- 8 議事録(要点)

事務局 【議題(1)について説明】

【以下、質疑応答】

福川議長 ご意見をお願いいたします。

片桐委員 資料4について、現在これだけの審議会が開かれているのはわかりますが、タイトルだけの表では内容が分からない。印西市民の目を引くようななるほどと思うようなこと、先程言われた市民提案の取り扱いについてなど、具体的なものを教えていただきたい。

福川議長 審議会の運用については次の議題であがっていて、最初の議題では市民参加の何がどのような状態かですが、もう少し踏み込んで、事務局からお願いします。

事務局 市民提案手続については、条例で市民30人以上の連署をもって市へ提案できる制度です。今年、去年はありませんが、平成24年から26年の頃には3件位、実際に市民提案がありました。内容の1つとしては、環境の問題がありました。クリーンセンターの絡みで大気汚染に関するもので、問題はないのですが、ニュータウン地区の環境測定をしっかりとしてほしいというのがありました。また、市民参加条例の手続そのものの市民提案があり、その意見をいただいて規則を改正いたしました。市民提案手続が、単に手紙のやり取りで終わってしまっていたという運用上の問題があり、それでは本当に市民の方が何を伝えたいのか、文章だけでわからないだろうと、手紙を受け取って返すだけでなく、その提案についての趣旨を団体代表者の方から担当課がきちんと話を聞き取り、対応方針を考え

るように改めたものです。

福川議長 進行で確認ですが、議題（１）（２）とありますが、今日は報告でいいですね。年度が変わってからの会議では審議を行うので、今日の会議では審議をしなくていいですね。今日はどうなっているかという話を聞いて、みなさんの意見を伺うものなので、自由な意見をお願いします。

議題（１）については、特に議論することはないですが、審議会について何かお気づきの点がありましたか。

それでは次の議題をお願いします。

事務局 【議題（２）について説明】

【以下、質疑応答】

福川議長 それでは、平成２８年度市民参加手続の中間報告について、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

三島木委員 今回は１０月３１日現在で、３月末にもう一度年間のものを行い、ホームページにも掲載されますが、閲覧数はわかりますか。どの位の市民の方がホームページを見られているのか、興味があります。パソコンをあまり使えない人たちにはどうやって周知してほしいと思っているか。年間の全体数、課別に分けられるのであればなお良いと思います。

事務局 担当課では集計をしていますので、どの位の精度のものかはわかりませんが依頼をすれば出せると思います。新年度になり、お集まりいただいた時に対応したいと思います。

三島木委員 無理のない程度でかまいません。どの程度、みんなが見ているかと思いましたが。

福川議長 広報紙の掲載とホームページの掲載が広がって、ホームページの閲覧数につながっていきますね。

他にはいかがでしょうか。

前田委員 市民参加条例が始まって１０年位経ちますかね。随分形が整って、良くなってきました。担当の企画政策課として、資料３の市民参加の度合をどう評価をして、今後何をテーマに市民参加条例の進化に取り組むのか、どのように考えています

か。

事務局

このような会議が終わるたびに皆様からいただいたご意見ご提案は情報共有ということで、パブコメ・審議会などはこのようにやってほしい等の周知を各課にしています。パブコメは、広報紙・ホームページで周知をして終了でしたが、例えば大きな計画でしたら資料が読みきれないので、一目でわかるような概要版を作成してもらったり、パブコメの場所にわかりやすいポスター掲示をしてもらうようお願いもしており、徐々にではありますが、浸透しています。また、ツイッターも始め、パブコメに関してはホームページを出すだけでなく、ツイッターでも情報発信をしています。

また、5つの市民参加手続の内、特に数の多い審議会とパブコメについては、条例に示されていない細かい部分のやり方が各課でバラバラでした。例えば、パブコメ時の貸し出し用資料が有るものと無いもの、ツイッターでの書き込みが有るもの無いものとバラつきがあるので、企画政策課では現在ガイドラインを作成しているところです。審議会等・パブコメについては、取るべき周知方法を全庁的に統一し、市民参加の促進に努めたいと思い、2月中を目指して各課に周知したいと考えています。資料3にある『工夫した効果』『市民参加の達成度』についても、皆様からの指摘を受け少しずつ改善を図ってきており、担当課も以前に比べれば認識して付けていると思っています。各課、共通した認識が取れるようにしたいと思っています。

事務局

昨年7月の会議時に27年度の結果を報告させていただき、評価につきまして、前田委員さんからも随分参加人数が多くなったとおほめの言葉をいただいたところですが、今回の場合は10月31日で時点がずれております。最終的には年度末で集計しますが、参加人数が増えており、良い傾向になっていると思われま

前田委員

昨年、図書館に行きましたら、パブリックコメントの意見を求めていると、素案と公募用紙がセットでありました。これは資料3にある、4番目の交通に関するものでした。応募しやすいし、自分も運転をしているので交通についての思いもあり、意見公募の用紙に記載し写真も何枚か付けて応募しました。1週間位して返事があり、締切日が2日過ぎていたので返却しますとのこと。締切があり、手続としてはもっともで、市民参加の仕組みや手続については100%に近い形かもしれないが、冷たいと思いました。たまたまで一部のこともかもしれないが、ガイドライン作るのであれば、一つ提案をしたい。

意見公募だと基本的には受け身の形で、唯一外に出て意見を聞こうというのが、9番目の市民説明会。外に出ると色々な意見を聞けるし、質の高い話が聞けたの

ではないだろうか。評価も高くなるので、是非ガイドラインの中で外に出て声を拾えるようなテクニックを盛り込んでほしい。説明会やワークショップなどもお客さまに近いテクニックの一つです。現場に出て有効になるのは、職員のマインドをいかに変えていくかで、なぜ市民の意見を聞くことが有効なのか、大切なのか、一番根底にあるものの理解が浅いので、教育を充実していただきたいと思います。

福川議長 参加できる手続を選ぶのだが、どれを選ぶかの理由は何かありましたか。

事務局 どの市民参加手続を選択するかは基本的には決まりがなく、担当課の判断になります。例えばアンケートの場合無作為に送るのも一つですが、ただ単に送るのではなく関係団体があればそちらには直接送るなどの選択肢についてもガイドラインに盛り込もうと考えています。ご提案いただいた市民説明会は、よほど大きなものでないと説明会の手続をとることが少ないのですが、積極的に市民参加の選択肢として取り入れるように呼びかけようと思います。

福川議長 そのように踏み込むことも必要ですね。

前田委員 年度の前に経費の予算化をしないと出来ませんか。

事務局 部屋の賃借料などは市の施設を使用すればかかりませんので、経費的にはそれ程かからないと思います。また、先程の交通に関するパブコメについては、貴重なご意見ですので、申し訳ありません。

三島木委員 こんな例もあります。他の委員会に出て意見を言ったときに、「自分たちはこれで良いと思ってやってきて、すぐに改められるかはわかりませんが。」と、快く言われた、その一言がとてもうれしかったです。前はこんなことはなく、進歩したと思います。何でも受け入れられるわけではなく担当部署にもよりますが、私としては、市職員は変わってきていると思います。

前田委員 手続はもれなく仕事をしていると良くわかります。

福川議長 意見公募をしたら応答はしていますか。

事務局 個別回答はしていませんが、一覧にしたものは公表しております。

福川議長 他にはいかがですか。

片桐委員 印西市の市民参加のレベルは全国ではどうなのでしょう。『市民参加手引』が立派過ぎて、例えばパブコメについて、一般市民には敷居が高い。また、書き

慣れていないと書類を出すのが大変な作業だと思うので、出したら必ず返事は期待されると思います。

福川議長 返事は個別に出してはいないが、まとめたものを公表しているということです。

片桐委員 もう少しわかりやすく、『こういうことを市民参加にとりいれた』という具体的な例を示すと良いと思います。

福川議長 印西市の市民参加の進み具合について、自己採点的にはどうですか。

事務局 特別進んでいるわけではないですが、特別遅れているわけではないと思っていますが、申し訳ありませんが自分では採点できません。

前田委員 条例化は千葉県の中でも早い方で、3番目位だと思います。

福川議長 東京大都市圏だと西の方が進んでいます。東だと千葉県で、千葉県だと、四街道市、松戸市、佐倉市、印西市が進んでいて、千葉市は飛び抜けています。

三島木委員 余談として聞いてほしいのですが、今、認知症の方が増えてきて、行政に騙された、土地をとられたと毎回来て言って来る人がいました。以前でしたらその部署で断っていましたが、福祉関係課がケアマネージャーなどを含め連携していて、横のつながりが出来てきていると感心しました。1つの良い事例だと思います。

福川議長 報告をこのように一覧にすることも必要ですが、際立った事例があったらそろそろ白書などにして出すというのも良いかと思います。

片桐委員 印西市は住みよさランキングで話題になり、そういうものが非常にわかりやすい。市民参加条例のランキングを誰かがやっても良いのでは。

前田委員 条例の中身はほぼ一緒で、運用の取り扱いです。千葉県でも市民活動が盛んな地域があり、白井市などは活発です。意識の問題だと思います。

福川議長 意識が高いわりにはなかなか参加しないので、印西市のイメージアップにもつながる事例をクローズアップしても良いかもしれないですね。

福川議長 その他にありますか。大体意見も尽きましたので、議題は終了します。事務局から何かありますか。無いようでしたら事務局にお返しします。

事務局 以上をもちまして、本日の市民参加推進委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

平成29年1月26日に行われた印西市市民参加推進委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

平成29年2月22日

会議録署名委員 片桐 顕二